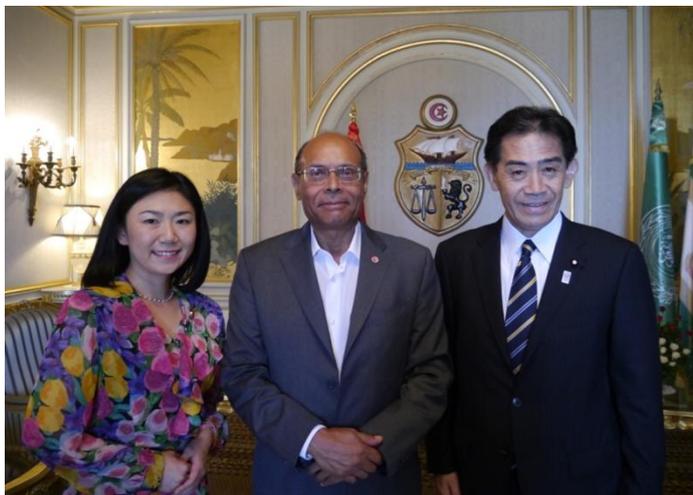


8月12日、逢沢一郎日本・アフリカ連合（AU）友好議員連盟会長・衆議院議員及び牧島かれん日本・AU友好議員連盟会員・衆議院議員がチュニジアを訪問し、マルズーキ大統領、ジャランディ外務大臣を表敬しました。

大統領表敬では、マルズーキ大統領から、経済協力、学術分野における日本からの支援に感謝が示され、今後、両国の協力関係が文化面でも促進されることへの期待を述べました。これに対し、逢沢議員から、今年6月の第5回アフリカ開発会議（TICAD V）への同大統領の参加に謝意を述べると共に、日本・AU友好議員連盟の会長として、チュニジアを含めたアフリカ諸国と日本との関係強化に積極的に取り組む旨強調しました。また、牧島議員から、文化交流や女性の社会進出の観点からも両国の協力関係を強化したい旨述べました。この他、チュニジアの民主化の成功に向けた我が国の支援について意見交換しました。



【参考リンク】日チュニジア首脳会談（TICAD V）

http://www.mofa.go.jp/mofaj/kaidan/page18_000004.html



マルズーキ大統領との会談に続くジャランディ外相表敬においても、TICAD Vのフォローアップを行いました。二国間関係の一層の強化に向けた今後の取り組みについて、チュニジアに対する我が国の民主化支援について、さらに、北アフリカ地域における最近の治安情勢について意見交換をしました。